

2020年10月5日

投資信託業務におけるお客さま本位の業務運営の実現に向けた 地方銀行初のDX化実証実験の開始について

株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：田尾 祐一）は、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：瓜生 憲）の連結子会社である、ロボット投信株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：野口 哲）と業務委託契約を締結し、ロボット投信が開発した「MINKABU FUND ANALYTICS」（以下、ファンド・アナリティクス）を活用した、投資信託業務におけるファンド提案やアフターフォローにおけるデジタル・トランスフォーメーション化（以下、DX化）のための実証実験を2020年10月5日からフィデアグループの北都銀行とともに地方銀行として初めて開始したことをお知らせいたします。

荘内銀行は、お客さまの安定的な資産形成に貢献するため、お客さま本位の業務運営を確実に実践すべく、適切な情報を分かりやすく提供するために有効なDX化を積極的に推進してまいります。

MINKABU

FUND ANALYTICS



(画面イメージ)

<次ページにつづく>

本件に関するお問い合わせ先 営業推進部 西川 TEL 023-626-9007

あしたをつくる、チカラになりたい。

 荘内銀行

〒997-8611 鶴岡市本町一丁目9番7号

0235-22-5211(代表) <https://www.shonai.co.jp/>

 FIDEA GROUP

株式会社 荘内銀行 登録金融機関 東北財務局長(登金)第6号 加入協会:日本証券業協会

「ファンド・アナリティクス」は、ロボット投信が開発した投資信託の基準価額変動の要因分析ツールで、独自モデルにより日次分析を可能とした SaaS (Software as a Service) 型のクラウドサービスです。本サービスにより、複数の投資信託の要因を合成することで、お客さまが保有する資産全体のポートフォリオの分析レポートを作成することが可能になります。

荘内銀行では、「ファンド・アナリティクス」を資産運用の専門担当者が使用し、お客さま個別の分析レポートとしてファンド提案やアフターフォローなどに活用します。

なお、今回の実証実験では、お客さまや担当者にアンケートを行い、レポートの見やすさ、使いやすさについて、ロボット投信にフィードバックすることで、今後のサービス向上や機能拡充に活用してまいります。

■株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドの概要

会社名	株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド
所在地	東京都千代田区神田神保町3丁目29番1号
設立年月日	2006年7月7日
代表者	代表取締役社長 瓜生 憲
URL	https://minkabu.co.jp/
主な事業内容	メディア事業、ソリューション事業

■ロボット投信株式会社の概要

会社名	ロボット投信株式会社
所在地	東京都千代田区神田神保町3丁目29番1号
設立年月日	2016年5月30日
代表者	代表取締役社長 野口 哲
URL	https://robotfund.co.jp/
主な事業内容	運用会社向けの投資信託業務効率化・デジタル化ソリューションの提供、証券会社・銀行向けの投資信託販売・マーケティング業務効率化・デジタル化ソリューションの提供、投資信託データ、市場データの提供

以上